

## 平成27年9月 工学部代議員会・工学研究科運営会議 議事概要

1. 日時 平成27年9月10日(木) 10時33分～11時48分
2. 場所 工学部第1会議室
3. 出席者 関学部長(研究科長), 岩永・高橋・佐藤・武居各副学部長(副研究科長), 植田・三科・工藤・山本各学科長(コース長), 宗方・荒井・石井・久下・須鎗各学科長, 原田・山崎・星各コース長, 佐瀬工学系事務センター長  
欠席者 塩田副学部長(副研究科長), 坂本学科長
4. 議事【付託事項】
  - (1) 部局間交流協定の更新について  
〔工学研究科運営会議 審議事項〕  
関研究科長から、「部局間交流協定の更新」について審議願いたい旨提案があり, 中村国際化推進委員会副委員長から, 資料に基づき説明があった後, 審議の結果, 原案どおり承認された。
  - (2) 千葉市立千葉高等学校との高大接続事業に関する協定書について  
〔工学部代議員会 審議事項〕  
関学部長から、「千葉市立千葉高等学校との高大接続事業に関する協定書」について審議願いたい旨提案があり, 武居副学部長から, 資料に基づき説明があった後, 審議の結果, 協定締結に向けて進めていくことが承認された。
  - (3) 平成27年度春期論文の要約の公表を希望する場合のやむを得ない事由について  
〔工学研究科運営会議 審議事項〕  
関研究科長から、「平成27年度春期論文の要約の公表を希望する場合のやむを得ない事由」について審議願いたい旨提案があり, 資料に基づき説明があった後, 審議の結果, 原案どおり承認された。
  - (4) 長期履修学生の期間変更について  
〔工学研究科運営会議 審議事項〕  
関研究科長から、「長期履修学生の期間変更」について審議願いたい旨提案があり, 資料に基づき説明があった後, 審議の結果, 原案どおり承認された。
  - (5) 学生の身分異動について  
〔工学部代議員会 審議事項〕  
関学部長から、「学生の身分異動」について審議願いたい旨提案があり, 当該学科長から, 資料に基づき説明があった後, 審議の結果, 原案どおり承認された。
  - (6) 学生の留学について  
〔工学部代議員会 審議事項〕  
関学部長から、「学生の留学」については, 議題を取り下げる旨説明があった。
  - (7) 研究生等の受入れ等について  
〔工学部代議員会 審議事項〕  
関学部長から、「研究生等の受入れ等」について審議願いたい旨提案があり, 資料に基づき説明があった後, 審議の結果, 原案どおり承認された。
  - (8) 科目等履修生等の単位認定について  
〔工学部代議員会 審議事項〕  
関学部長から、「科目等履修生等の単位認定」について審議願いたい旨提案があり, 資料に基づき説明があった後, 審議の結果, 原案どおり承認された。
  - (9) 国費外国人留学生(研究留学生)の受入れについて  
〔工学部代議員会 審議事項〕  
関学部長から、「国費外国人留学生(研究留学生)の受入れ」について審議願いたい旨提案

があり、資料に基づき説明があった後、審議の結果、原案どおり承認された。

(10) 学生の身分異動について

〔工学研究科運営会議 審議事項〕

関研究科長から、「学生の身分異動」について審議願いたい旨提案があり、資料に基づき説明があった後、審議の結果、原案どおり承認された。

(11) 特別聴講学生等の受入れ等について

〔工学研究科運営会議 審議事項〕

関研究科長から、「特別聴講学生等の受入れ等」について審議願いたい旨提案があり、資料に基づき説明があった後、審議の結果、原案どおり承認された。

(12) 特別聴講学生の単位認定について

〔工学研究科運営会議 審議事項〕

関研究科長から、「特別聴講学生の単位認定」について審議願いたい旨提案があり、資料に基づき説明があった後、審議の結果、原案どおり承認された。

5. 議 事【付託事項以外】

(1) 卓越した学生に対する授業料免除に係る免除適格者の推薦について

〔工学部代議員会 審議事項〕

関学部長から、「卓越した学生に対する授業料免除に係る免除適格者の推薦」について審議願いたい旨提案があり、資料に基づき説明があった後、審議の結果、原案どおり承認された。

(2) 卓越した学生に対する授業料免除に係る免除適格者の推薦について

〔工学研究科運営会議 審議事項〕

関研究科長から、「卓越した学生に対する授業料免除に係る免除適格者の推薦」について審議願いたい旨提案があり、当該コース長から資料に基づき候補者の説明があった。

引き続き、関研究科長から、免除適格者の選出方法について説明があり、無記名投票により上位4名を免除適格者として選出することが了承され、投票の結果、上位4名の学生を免除適格者として推薦することが承認された。

以 上